

土砂災害緊急調査、緊急情報の提供による市町村の避難判断支援 事例紹介

紀伊半島の河道閉塞に伴う緊急調査の事例



奈良県五條市大塔町
赤谷の河道閉塞



上空からの
レーザー測距計による計測

- 平成23年9月2日～4日に上陸した台風第12号により、紀伊半島の山地で1000mm以上の総降水量を観測。
- 9月6日、奈良県熊野川(十津川)流域3箇所、和歌山県日置川流域1箇所で、9月13日に奈良県熊野川(十津川)流域で緊急調査に着手
- 避難のための参考となる「重大な土砂災害が想定される区域」及び「重大な土砂災害が想定される時期」の情報を関係都道府県及び関係市町村へ通知
- 緊急対策工事の進捗により、「重大な土砂災害が想定される区域」を解消

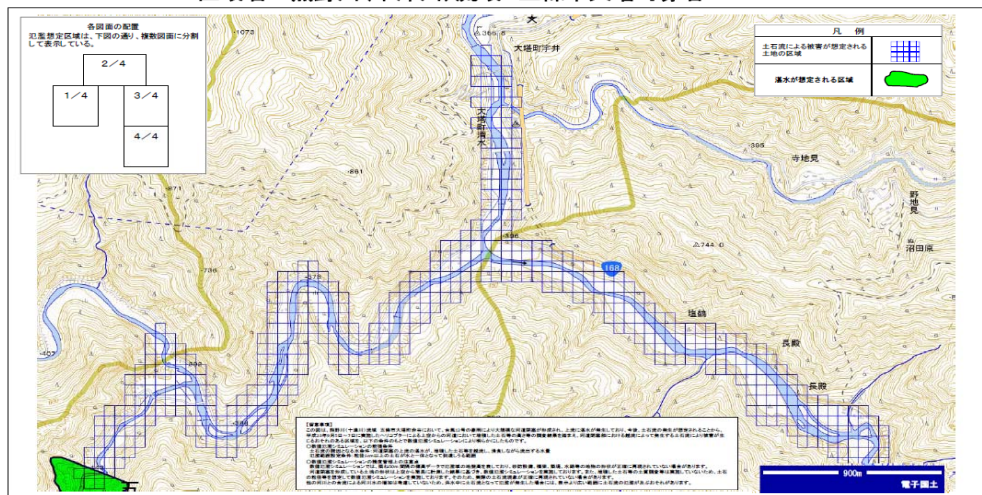
重大な土砂災害が想定される区域

河道閉塞による湛水を発生原因とする土石流等による被害が想定される土地の区域

別紙1

区域名：熊野川(十津川)流域 五條市大塔町赤谷

(2/4)



重大な土砂災害が想定される時期

別紙-2 重大な土砂災害が想定される時期 (平成23年9月8日17時現在)

(参考)

河道閉塞の確認場所	重大な土砂災害が想定される時期	避難について	河道閉塞高さまで満水になるまでの推定累積雨量
奈良県五條市大塔町赤谷	早ければ今夜	避難が必要であると考えられます。	約60mm
奈良県十津川村長殿	予想されている降雨量では越流する可能性は小さい	予想されている降雨量では避難の必要はないと考えられますが、局地的豪雨の可能性もあるため、避難の準備を進めてください。	約270mm
奈良県十津川村栗平	予想されている降雨量では越流する可能性は小さい	予想されている降雨量では避難の必要はないと考えられますが、局地的豪雨の可能性もあるため、避難の準備を進めてください。	約650mm

※ ただし、今後の降雨の状況等によって土石流の発生が早まることも予想されます。

9月8日 避難指示(奈良県五條市、十津川村)

9月8日 避難勧告(和歌山県田辺市)

新潟県上越市の地すべりに伴う緊急調査の事例



地すべりの全容



専門家による合同調査

- 平成24年3月7日、新潟県上越市で融雪による地すべりが発生
- 新潟県は、3月8日に緊急調査に着手。(社)日本地すべり学会、新潟大学、(独)土木研究所、国土交通省ら専門家と合同調査・対応検討を実施。
- 新潟県は、避難のための参考となる「重大な土砂災害が想定される区域」の情報を上越市へ通知
- 緊急調査と平行して応急対策(集落防護、抑制工)を実施
- 5月21日地すべりがほぼ停止したことから緊急調査を終了

重大な土砂災害が想定される区域



重大な土砂災害が想定される時期



カメラ映像により職員が監視

地すべりの動きが激しいため、職員が24時間体勢で地すべり状況を監視



監視カメラ配置状況

※新潟県ホームページより

3月8日 避難勧告(上越市:21世帯83名)

まとめ

いわゆる、火山や深層崩壊等の大規模で特殊な土砂災害については、災害発生箇所を特定できた場合、国の砂防部局として市町村長の避難指示等の判断を支援するようになっている。

災害発生箇所が特定される前の広域で発生する土砂災害についても、今後技術面での進歩を反映させ、よりの確に市町村長や地域住民の判断を支援していくことが必要。